

NTTコミュニケーションズの SaaS基盤サービスのご紹介

2008.5.20

NTTコミュニケーションズ株式会社
ブロードバンドIP事業部
中山幹公

市場背景など

① ユーザ企業側のアウトソーシングに対する意識の変化

⇒経営環境の激しい変化に迅速に対応する必要性が高まり、またシステム構築やシステム運用のアウトソーシング、セキュリティ確保等に対する意識も変わってきた。

② Web技術の進歩と標準化

⇒Web関連技術の標準化、格段の進歩により、ユーザの利用環境が大幅に向上し、他システムとの連携やソフトウェアベンダ側での開発コストの削減も容易になった。

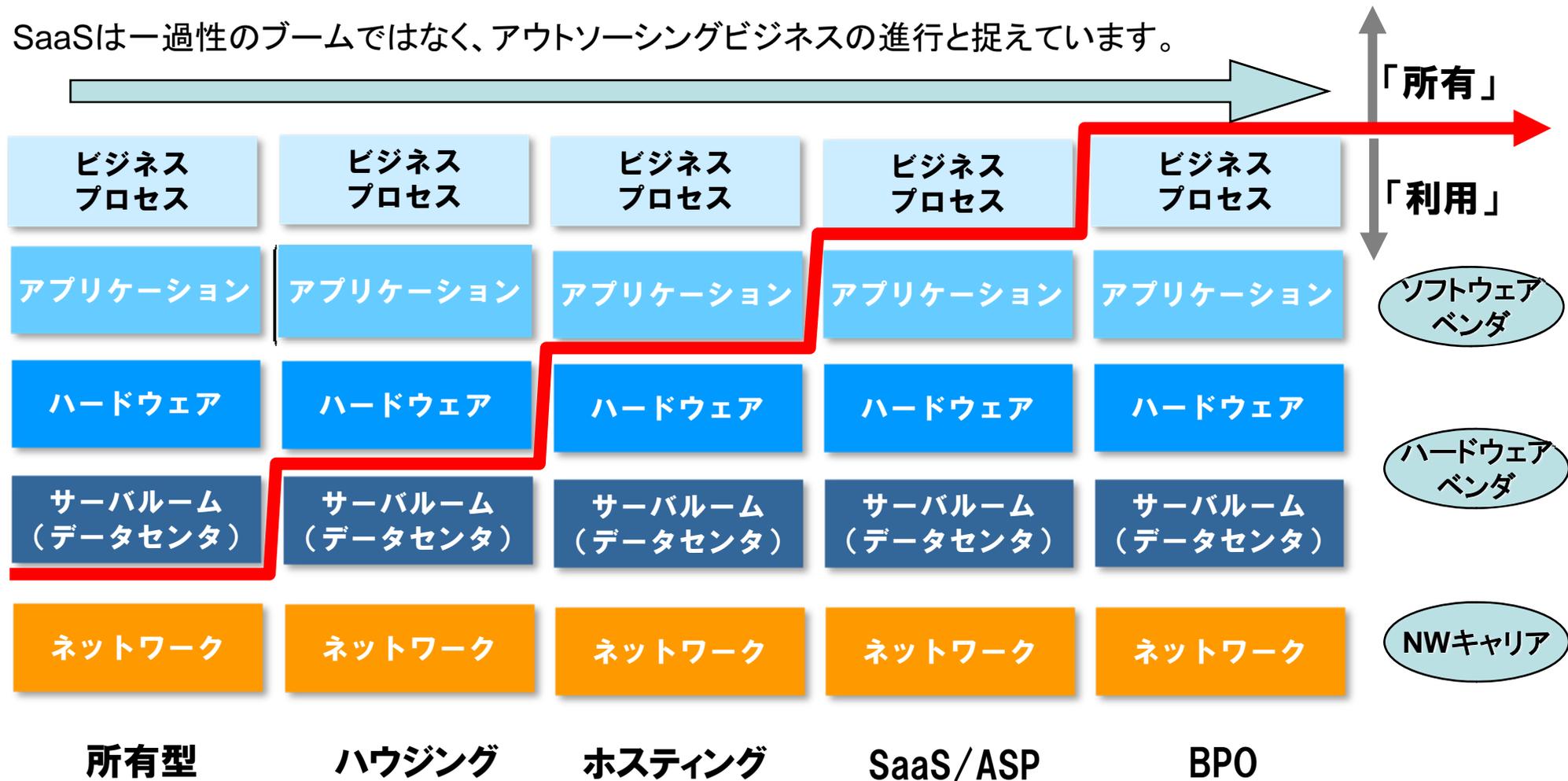
③ 高速かつ安価なネットワーク回線の普及

⇒ネットワーク経由でも、社内のサーバ上のソフトを利用しているのと変わらない速度、しかもそれが安価で利用できるようになった。
(当時は、ASP利用料金よりもかえって回線コストが高くなる状況も)

⇒「ASP」が成功しなかった要因が払拭され、いまこそビジネスチャンスに。

アウトソーシングの進行

SaaSは一過性のブームではなく、アウトソーシングビジネスの進行と捉えています。

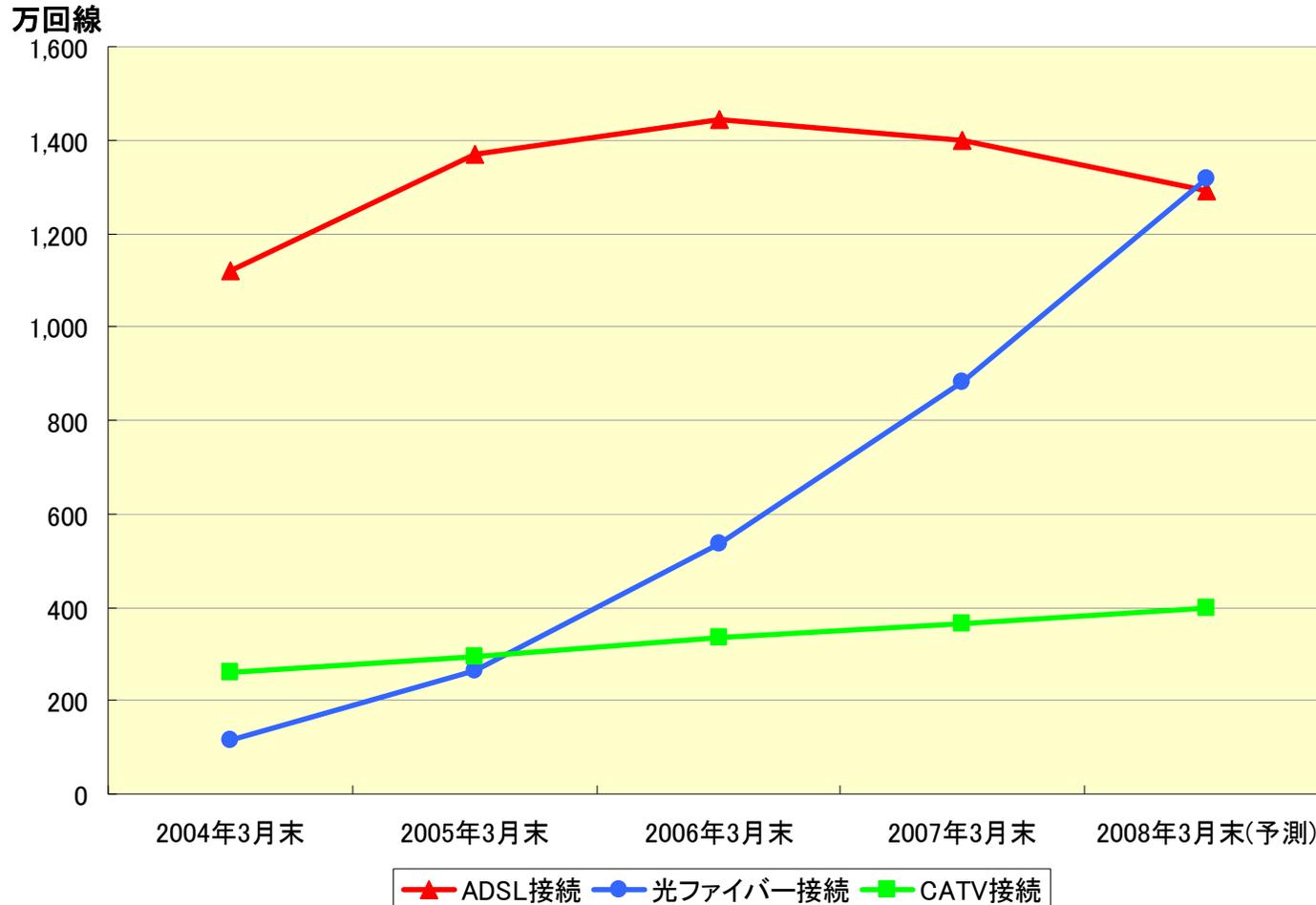


ネットワークキャリアはもともと「サービス提供型モデル」です。

⇒NTTComはSaaSの発展そのものを推進できるプレイヤーです。

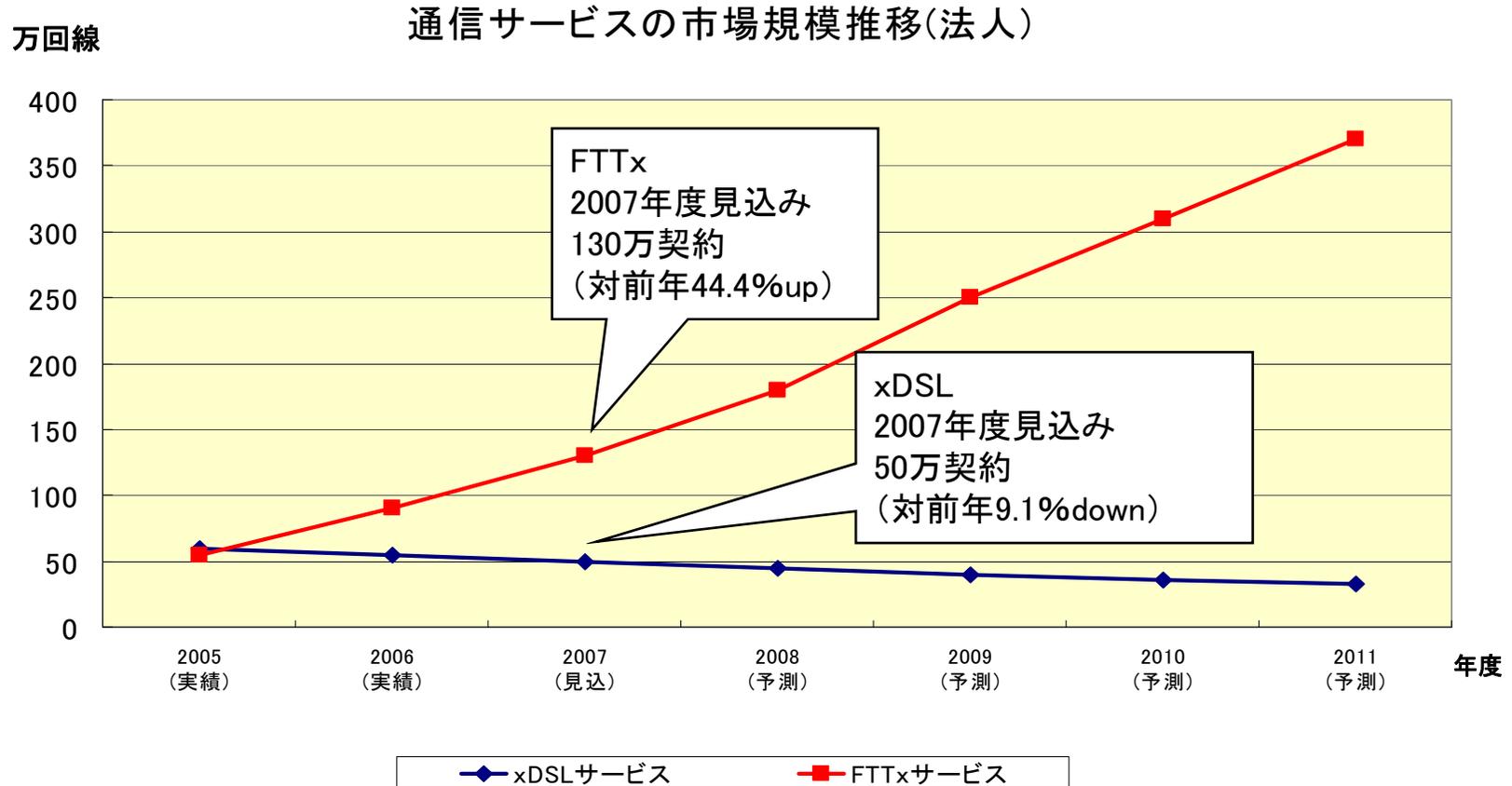
ADSLから光への移行が顕著

ブロードバンド接続サービスの契約件数推移(個人)



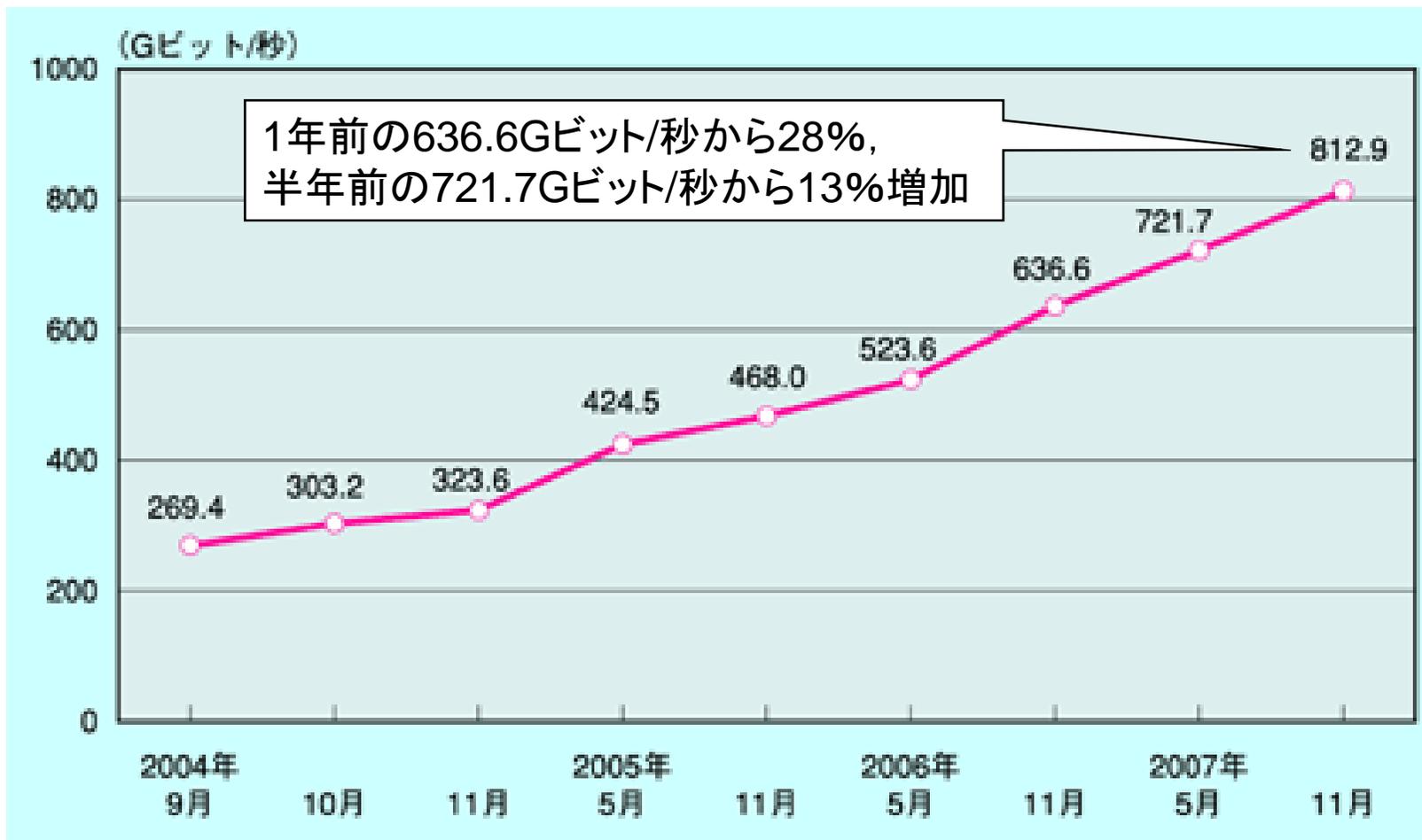
出典:富士キメラ総研
2007コミュニケーション関連
マーケティング調査総覧

xDSLサービス縮小、FTTxサービスへの移行拡大 サービスエリアの拡大を背景に光への移行が顕著



出典: 富士キメラ総研
2007コミュニケーション関連
マーケティング調査総覧

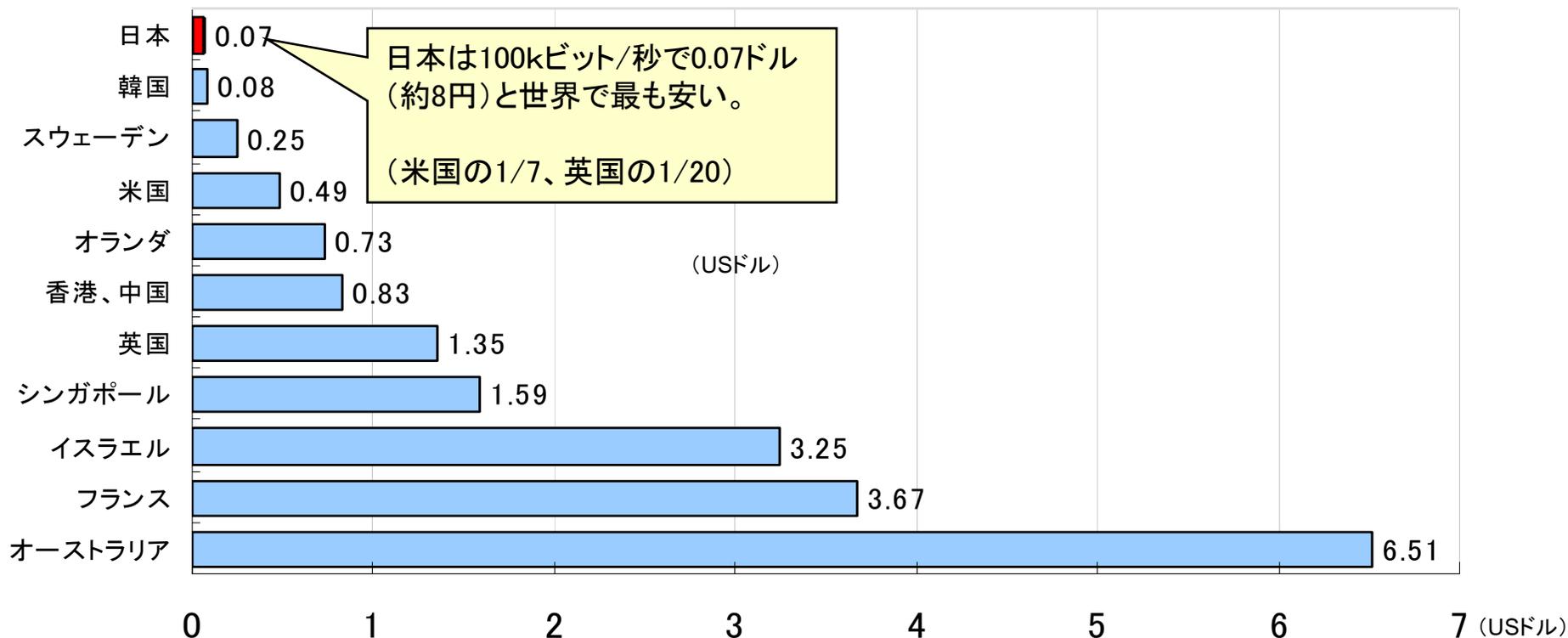
●国内のブロードバンド・ユーザーによるインターネット・トラフィック月間平均推移
(2004年9月～2007年11月実績)



出典:総務省,「わが国のインターネットにおけるトラフィック総量の把握」(2008年2月)

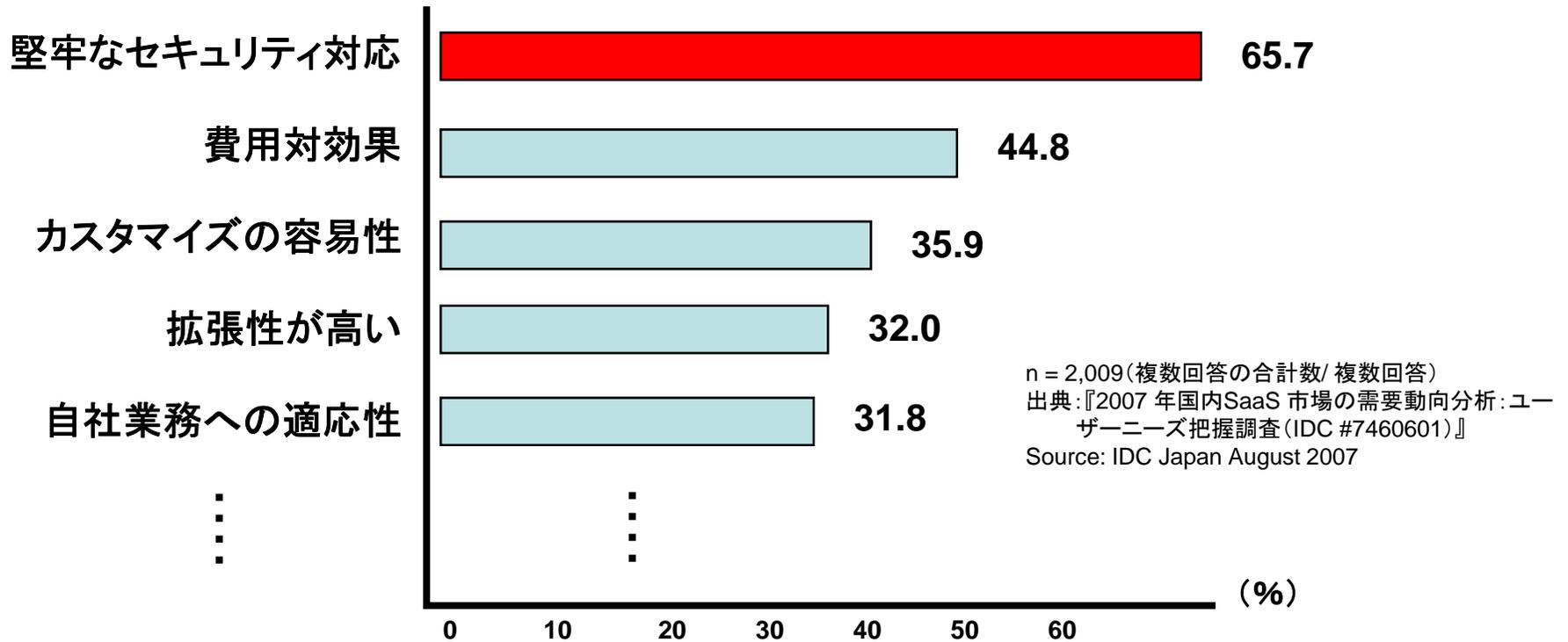
日本は通信帯域当たりの料金が世界で最も安い
⇒ブロードバンド環境は、SaaS展開にもっとも適している！

100kビット/秒当たりのビット単価(USDドル)



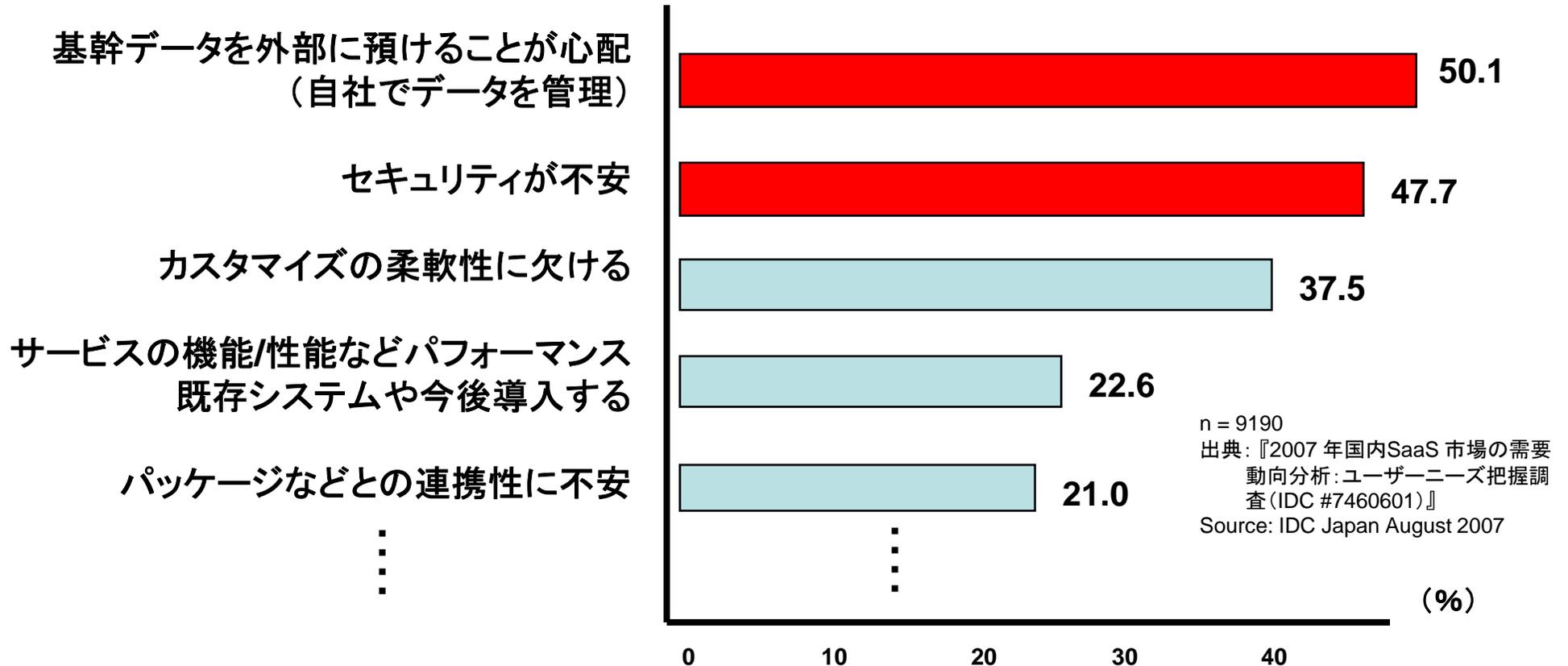
SaaS導入にあたっての エンドユーザ企業様の意識

SaaS/ASP 選定時の重要項目



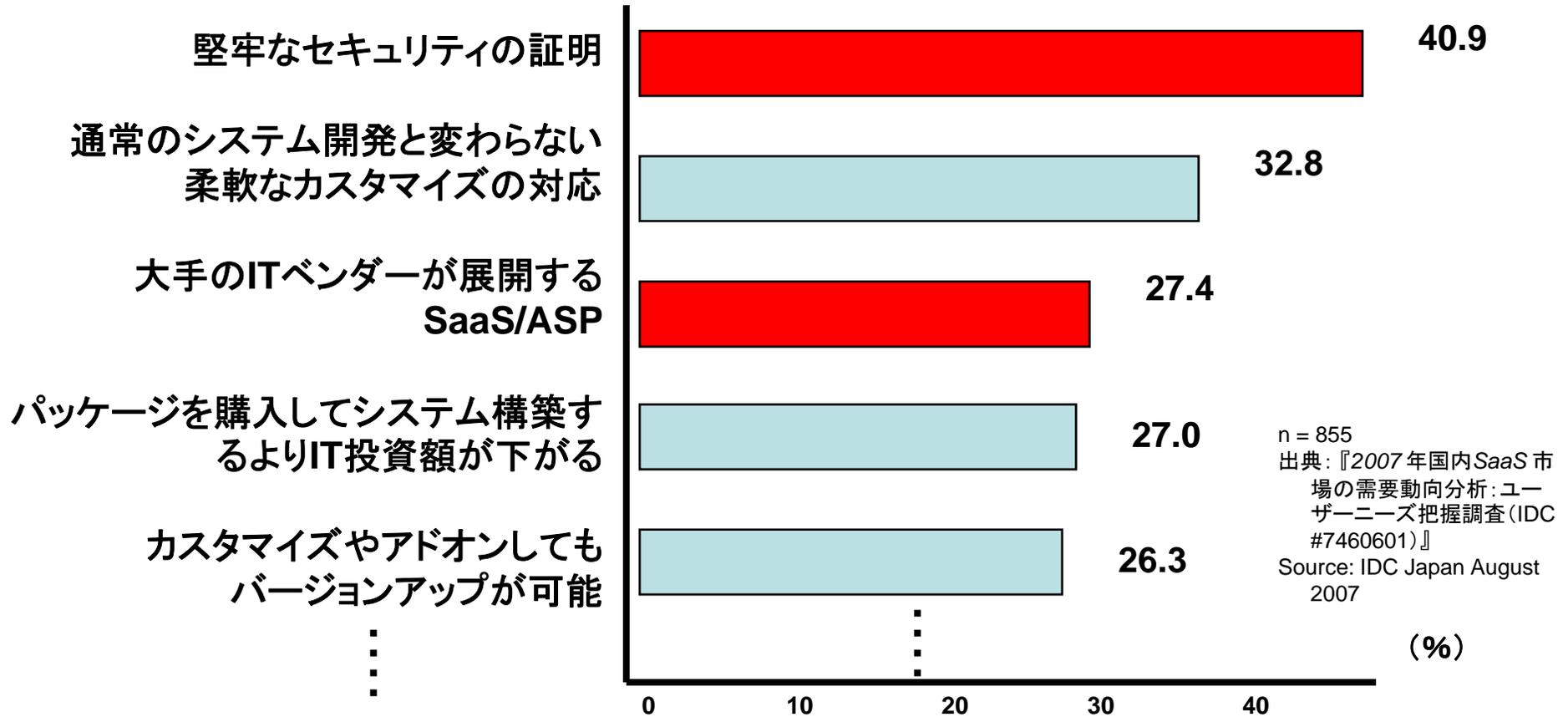
⇒ SaaS/ASPの選定において「堅牢なセキュリティ対応」が突出して重要視されている。
 SaaS/ASP事業者にとって、ソフトウェアを運用するデータセンター環境や、ネットワークのセキュリティ対策が非常に重要となるとともに、エンドユーザ企業に安心してもらえるようなセキュリティを訴求できるかどうか導入の鍵になるとと思われる。

SaaS/ASPを導入する上での阻害要因



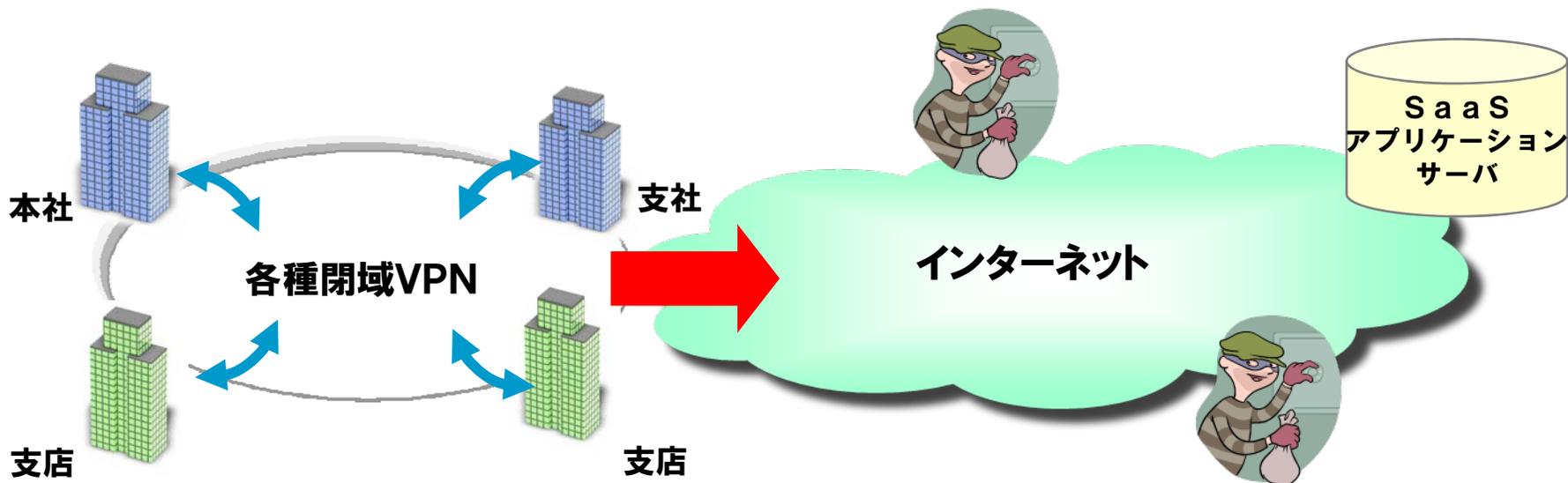
⇒ SaaS/ASPを広く普及させるためには、セキュリティ、カスタマイズに対する不安の払拭が重要である。また、この傾向は大企業ほど顕著である。

SaaS/ASP 検討阻害要因の緩和条件



⇒エンドユーザ企業の不安を払拭するには、セキュリティが高い事をきちんと説明できなければならない。また、企業ブランドも重要であることがうかがえる。

○せっかく閉域のVPNを構築しているのに、
SaaSの利用はインターネット経由ですか？



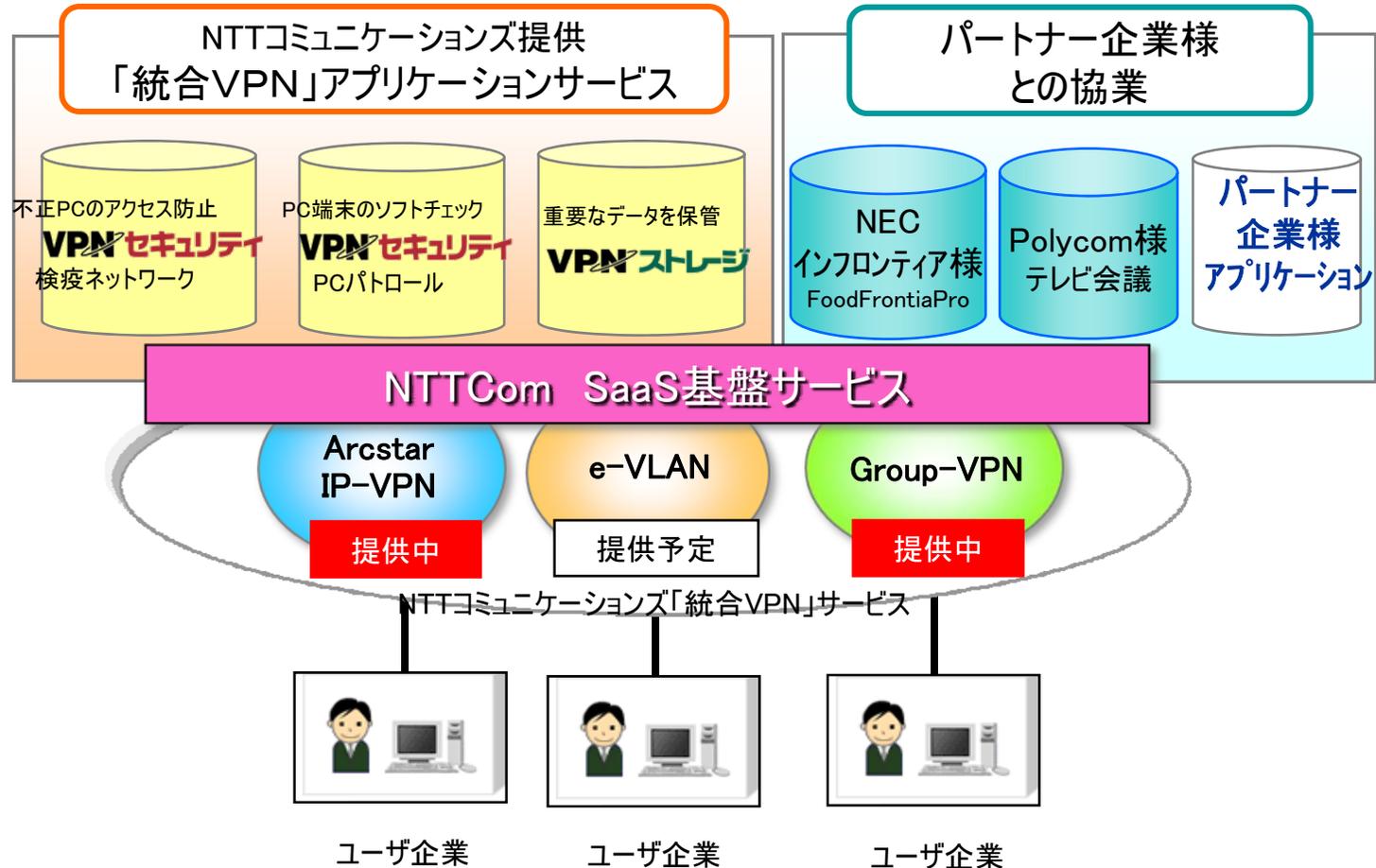
⇒VPNの中でセキュアにSaaS・ASPが利用できたらいいと思いませんか？

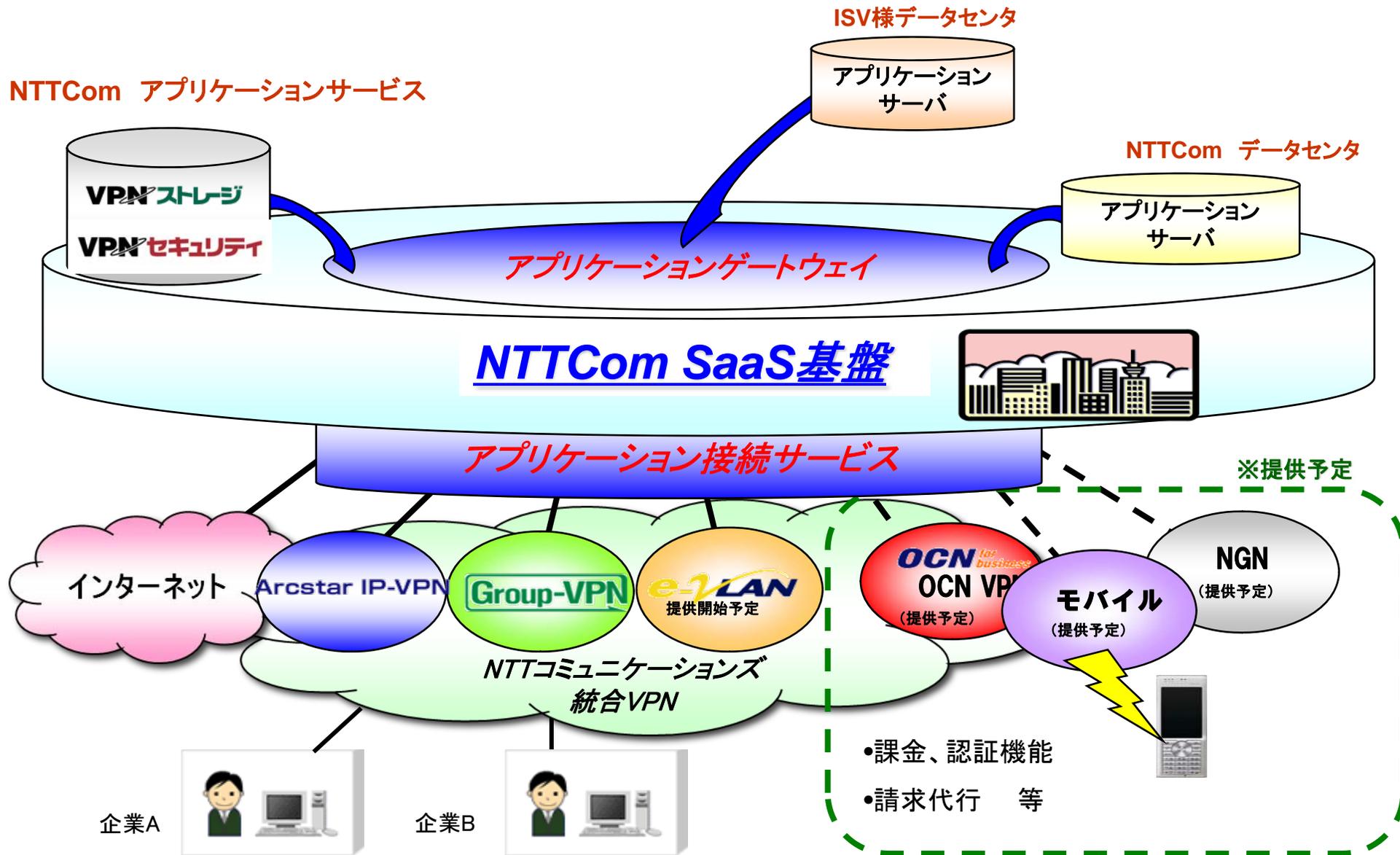
**NTTComはセキュアで
安心して使える
SaaSをご提案します**

VPNに直結したSaaS基盤

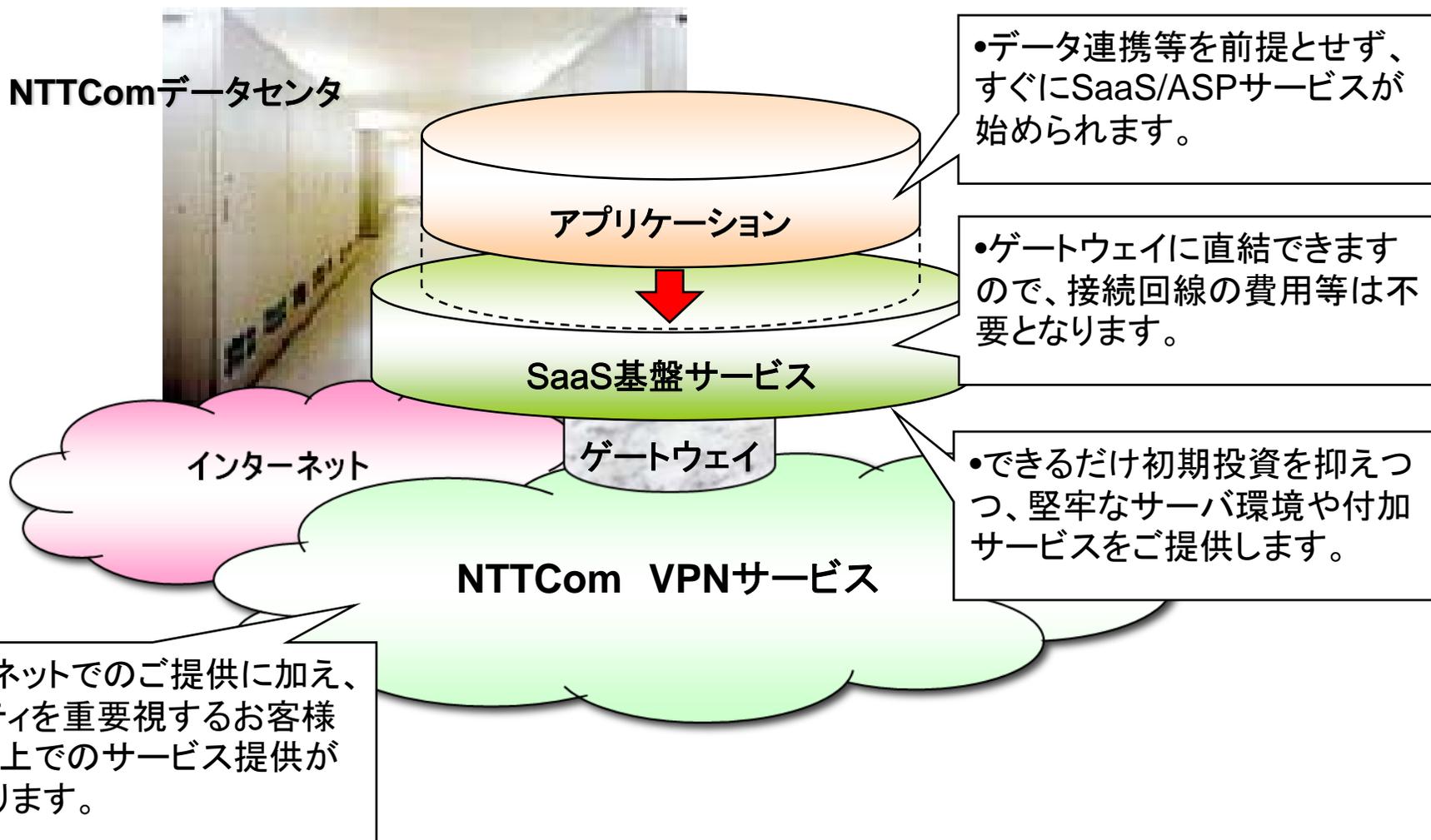
⇒ご利用中のVPNの中で快適・セキュアにアプリケーションが利用できます！！

セキュアな閉域VPNと高機能なアプリケーションをワンストップで提供



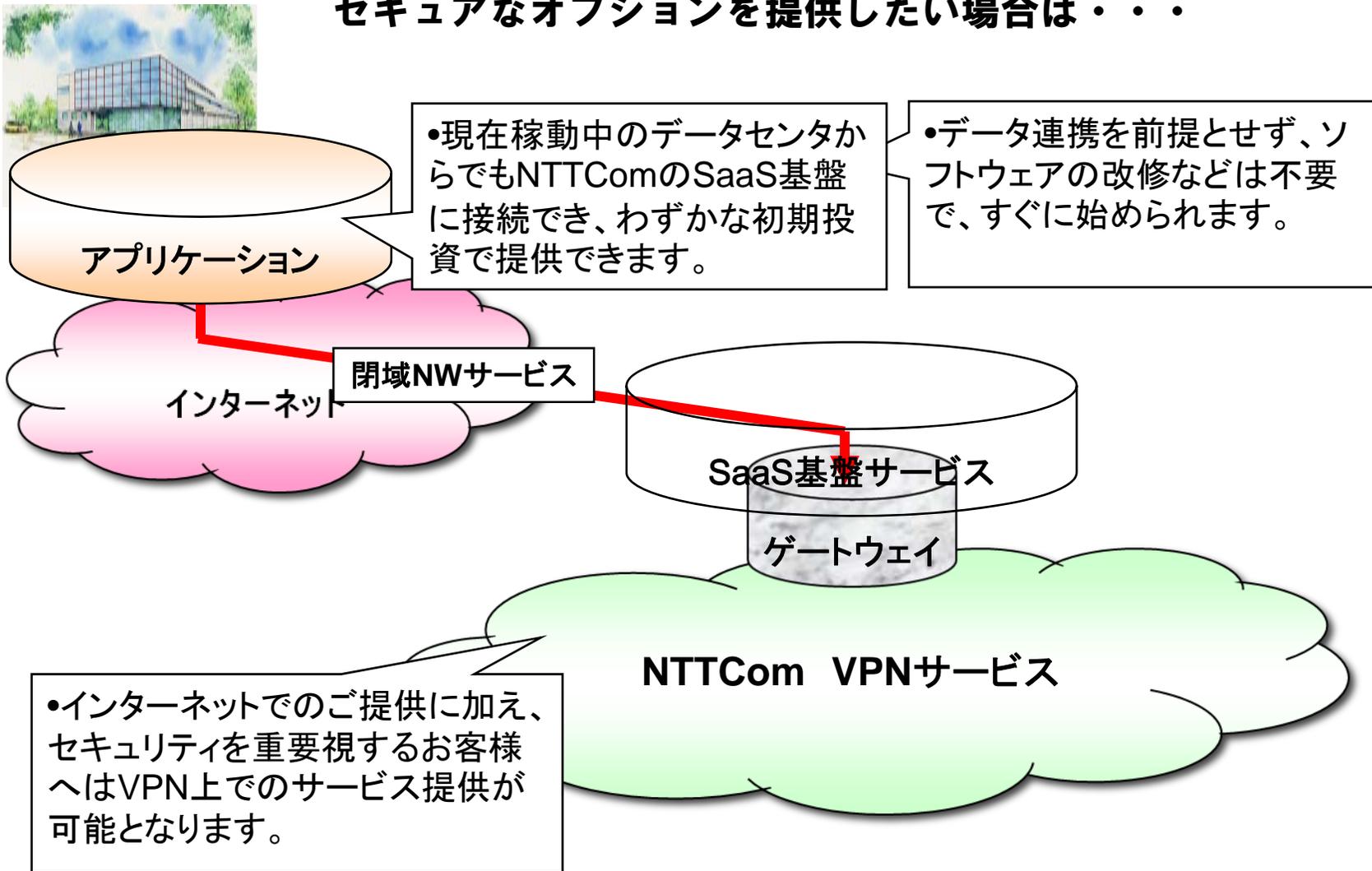


すぐに、新しく SaaS/ASP サービスを始められたい場合は・・・



SaaS×VPN 提供パターン②

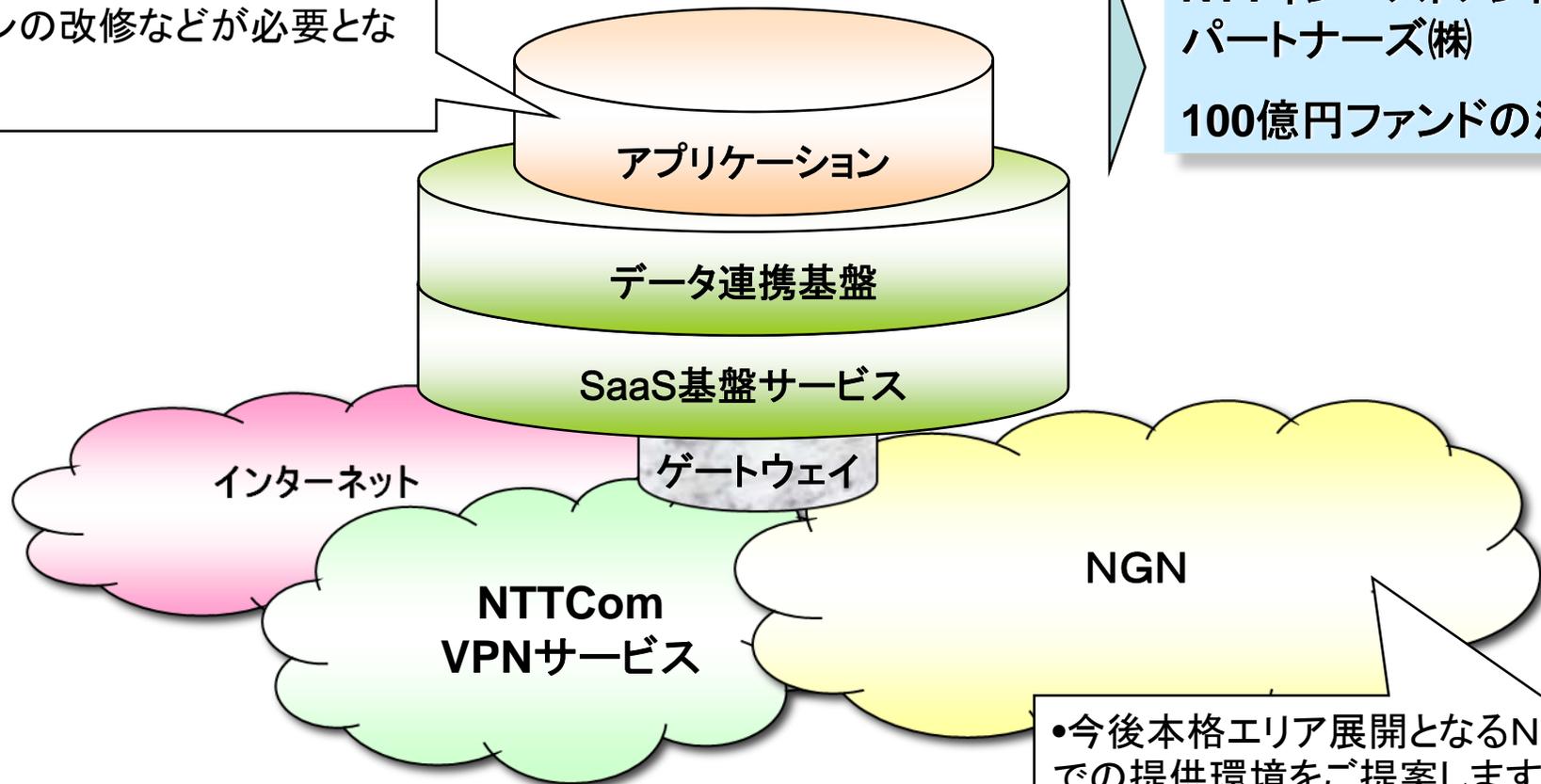
すでにインターネットでSaaS/ASPサービスを提供中で、
セキュアなオプションを提供したい場合は・・・



SaaS×VPN 提供パターン③

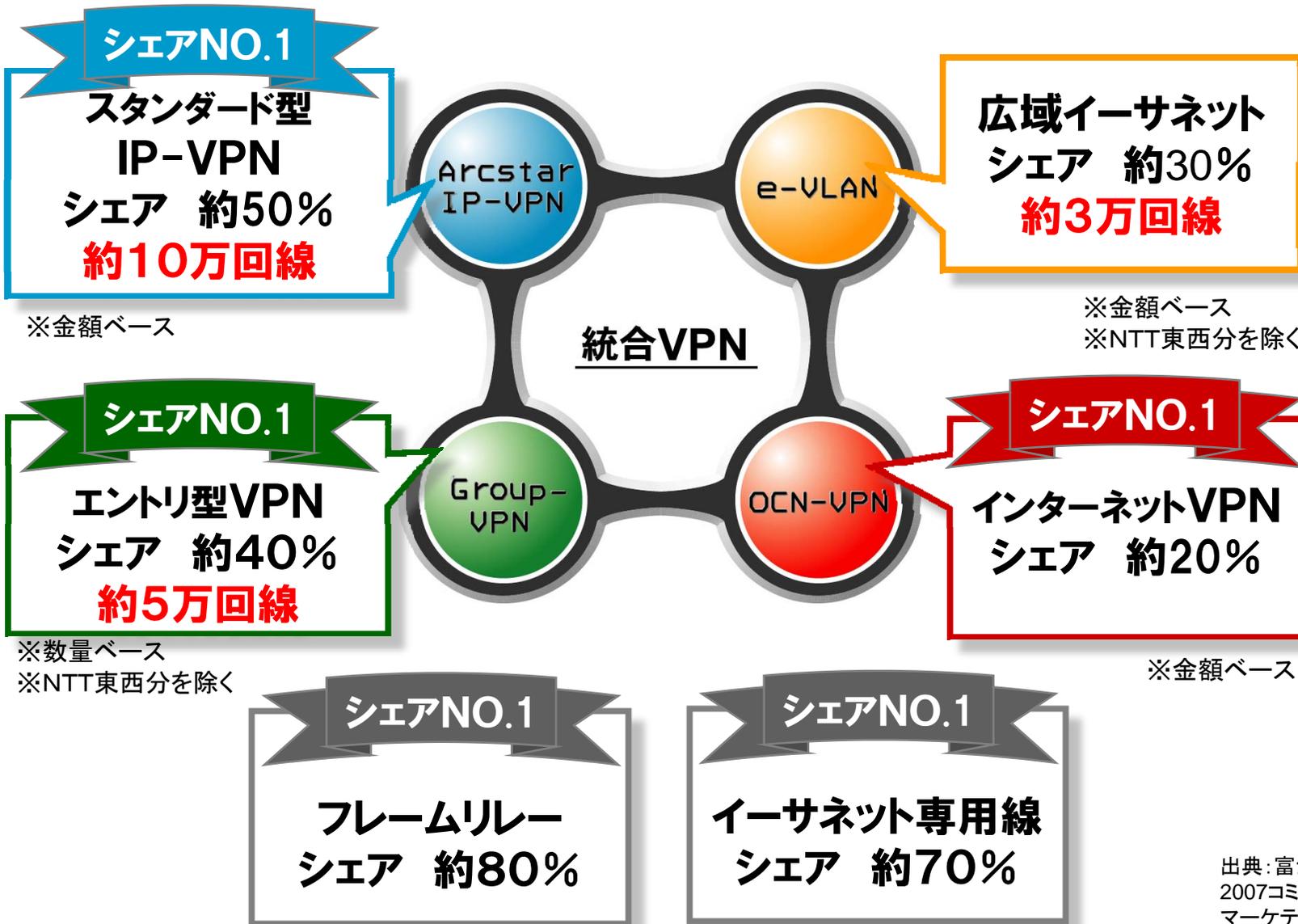
多少時間をかけても、他のソフトウェアとの連携等も含めて
SaaS/ASPサービスを検討したい場合は・・・

•データ連携基盤にあわせアプリケーションの改修などが必要となります。



NTTインベストメント・
パートナーズ(株)
100億円ファンドの活用

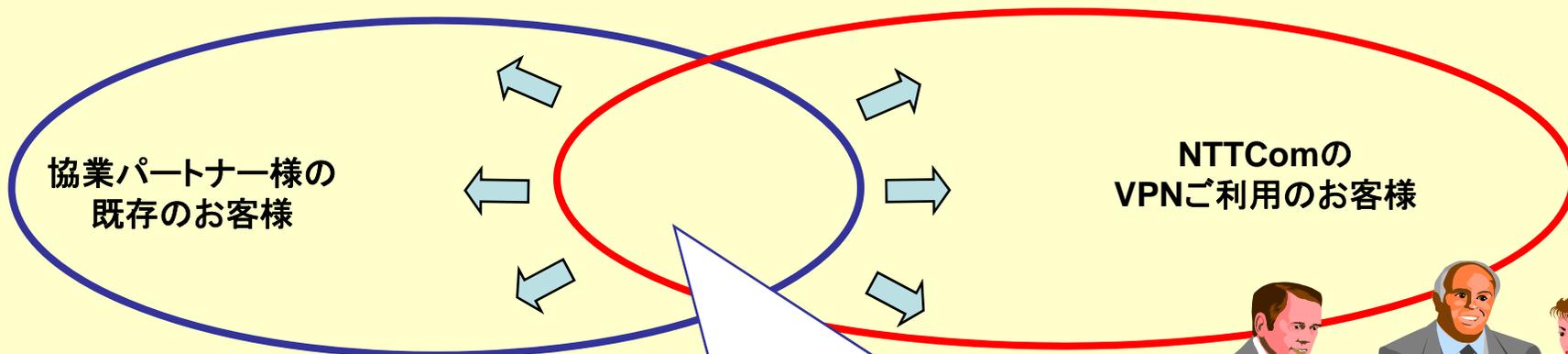
•今後本格エリア展開となるNGN
での提供環境をご提案します。



出典: 富士キメラ総研
 2007コミュニケーション関連
 マーケティング調査総覧

共同マーケティングの展開について

- 「協業パートナー様のSaaSサービスがセキュアで安心して使ってもらえる」という事をNTTComでもプロモーションさせていただきます。
- 協業パートナー様のSaaSサービスを、NTTComの販売チャネルにおいても拡販させていただきます。
- NTTComのVPNユーザ様に対する情報発信等で、協業パートナー様のソフトウェア製品をPRいたします。

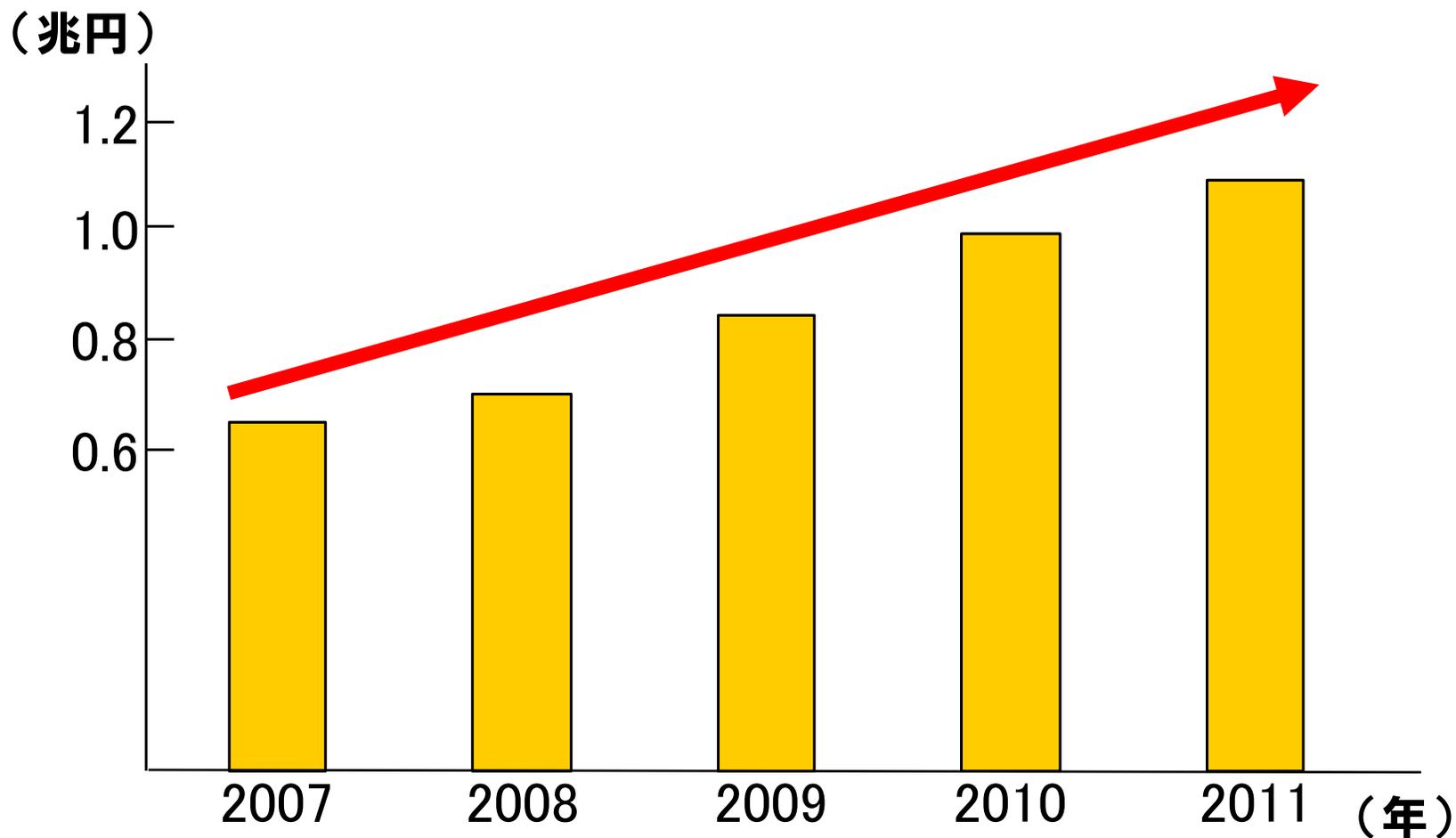


共同営業や共同キャンペーン、さらにはNTTComユーザへの効果的情報発信により、重なるの部分をできる限り拡大していきます。



NTTComのデータセンターについて

国内データセンターサービスの市場規模推移(2007~2011年)



出典: 2008年1月、IDCジャパン調べ

データセンタのメリットが見直されています

・アウトソーシングとして...

- ・変化の激しい業界ほど、コア業務へ専念することが競争力の源泉に。「持たざる経営」
- ・BPO等のアウトソーシングビジネス全体が今後伸張
 - 2011年には2006年比28%増と予測
 - 国内産業界全体の人手不足
 - 内部統制等法規制対応の必要性

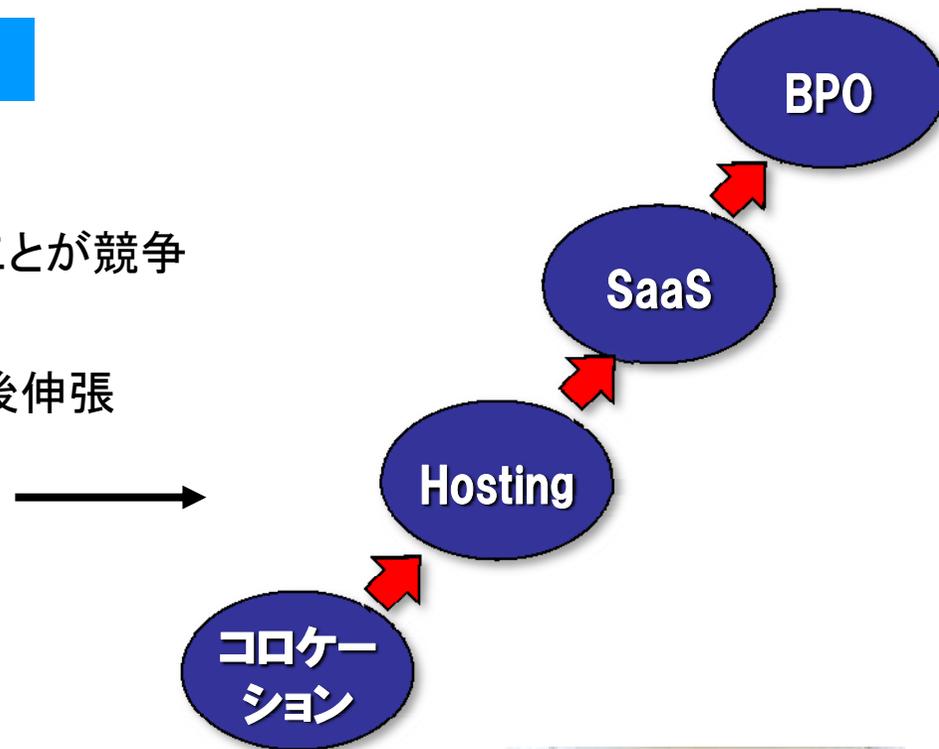
・各種リスクへの備えとして...

- ・情報漏えいはむしろ内部から...
- ・万が一の時を考えたらどちらが安心か？

大切な情報を社内に保管するのと、信頼できるベンダに預けるのではどちらが安心か？

・グリーンIT

- ・産業界全体での集約効果による省電力等



NTT Comのデータセンターのカバレッジ

世界の主要都市に最高水準レベルのデータセンターを設置しております。

アジア:15都市 19DC 米州:6都市 6DC 欧州:6都市 7DC



日本

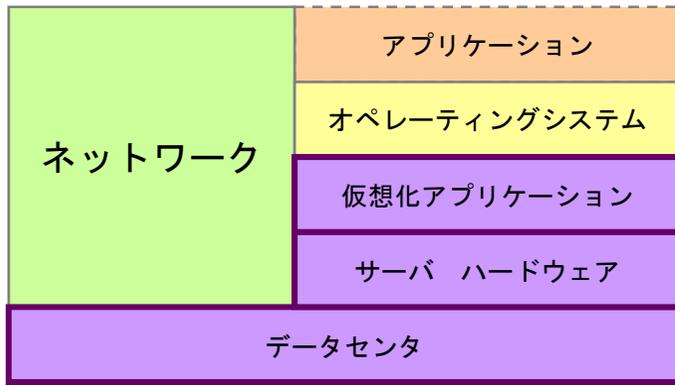
日本国内では約70箇所のデータセンターを設置

全世界に約90箇所のデータセンターを設置

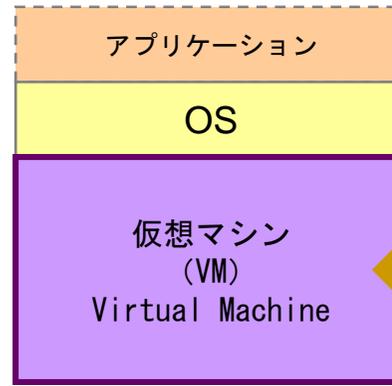
仮想サーバホスティングサービス

- サーバ仮想化技術で分割したサーバリソースによる仮想サーバとを提供するホスティングサービスです。

システムの構成要素



基本サービスの要素

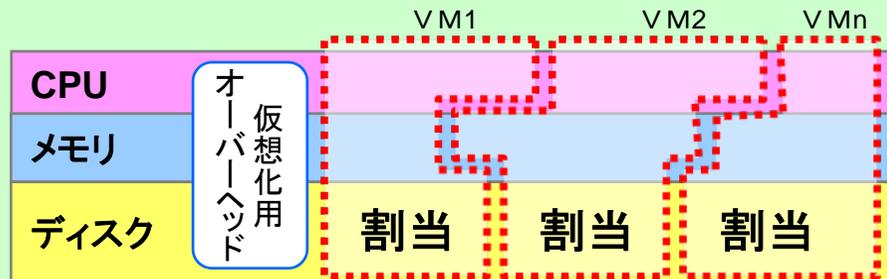


サーバリソースの割当て (VR) Virtual Resource

CPU: Xeon (5160) 3.0GHz × 2 の 8分の1 相当 (デュアルコア CPU × 2)
 メモリ: 1.5GB
 ディスク: 30GB (実効容量)

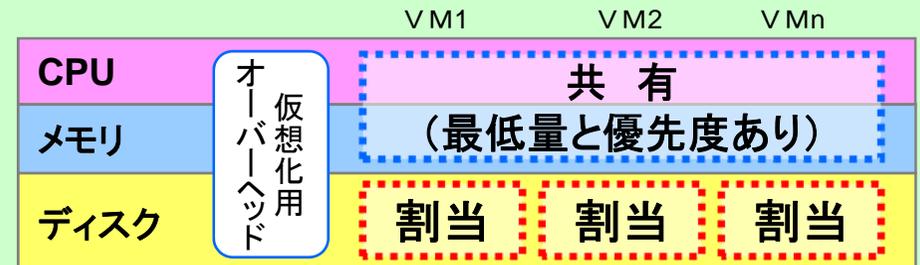
(1) FVR (Fixed Virtual Resource) 固定仮想リソース

各VMへ任意に性能上限値を割当ててる



(2) PVS (Private Virtual Server) 仮想専用サーバ (いわば専用VPS)

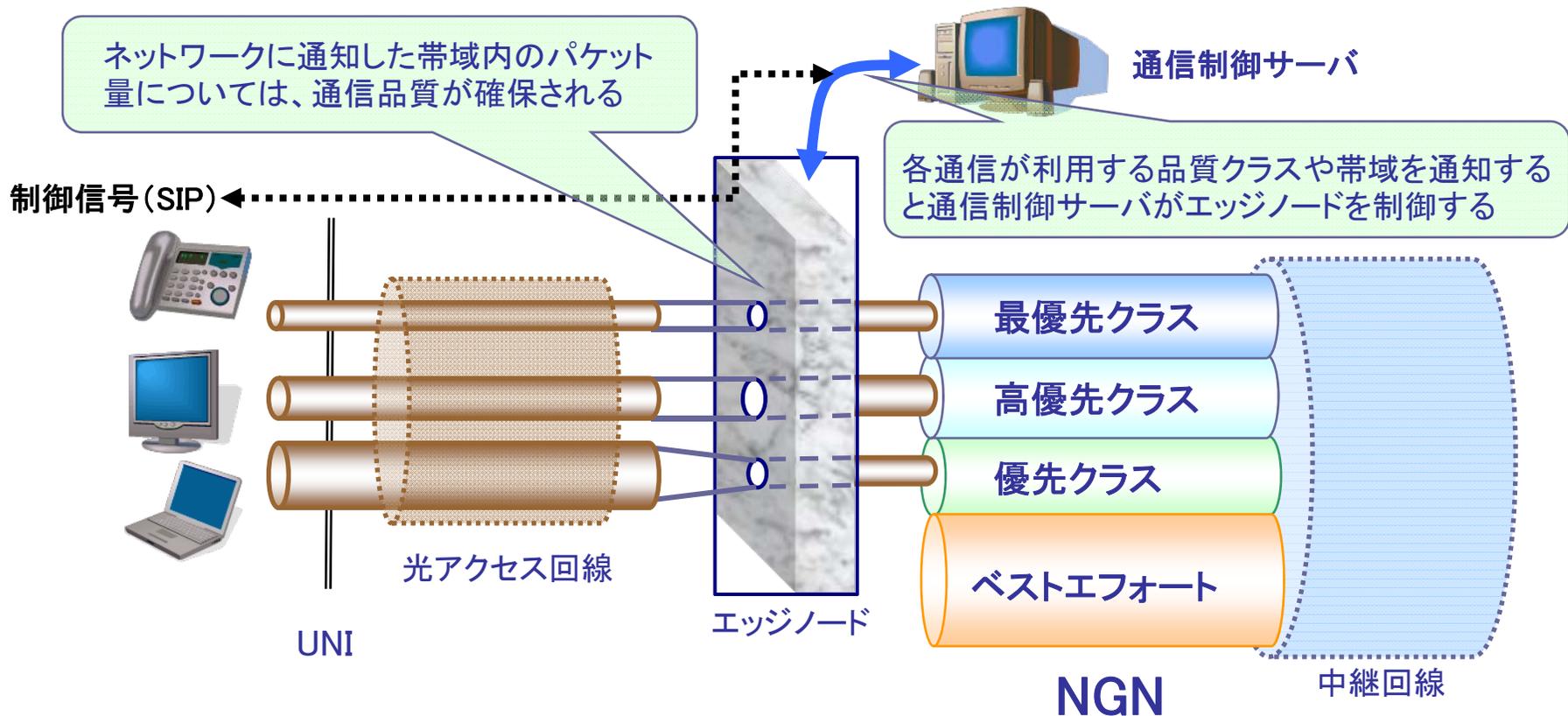
各VMへ任意にCPU・メモリの性能最小値と優先度(高・中・低)を割当ててる



NGNについて

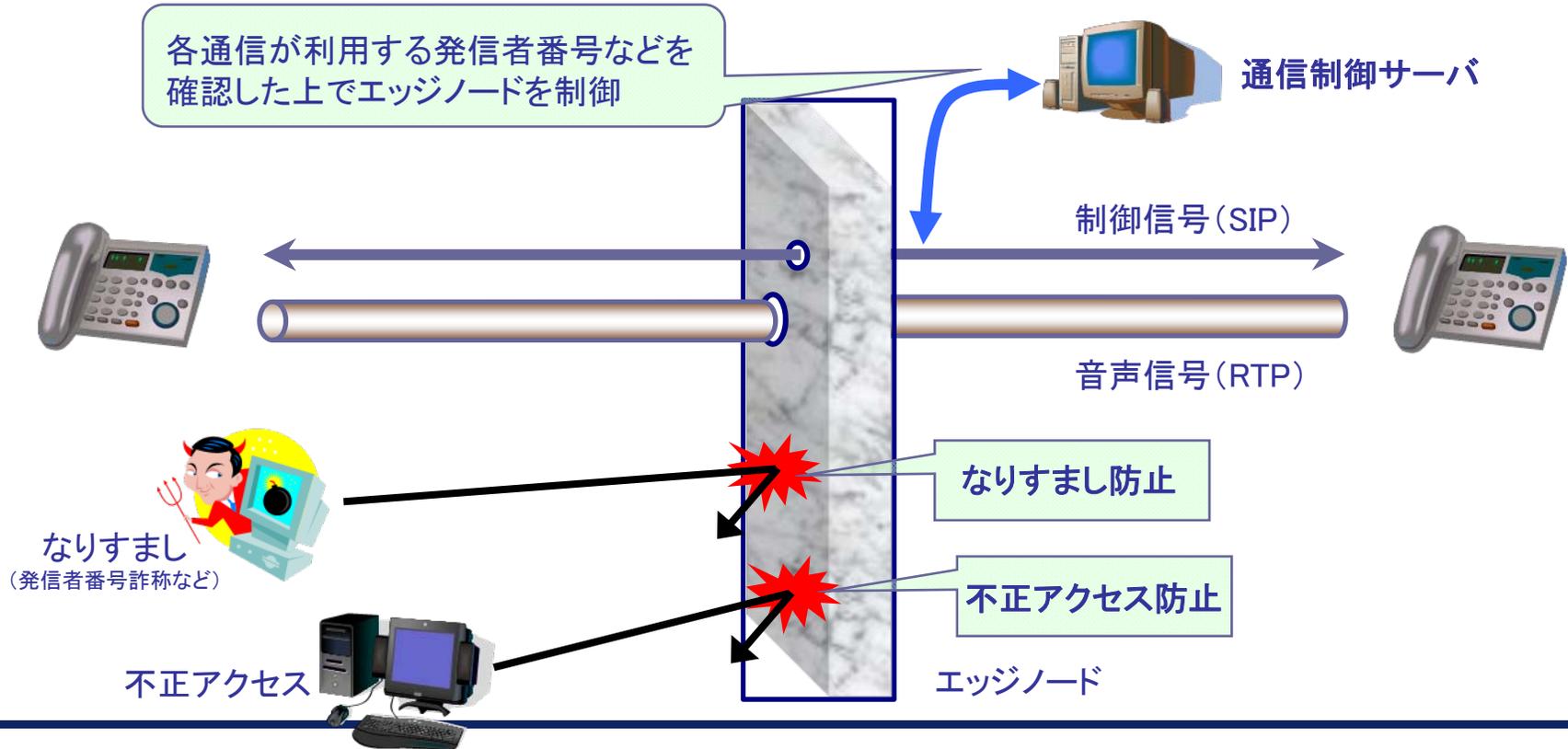
NGNでの通信品質制御

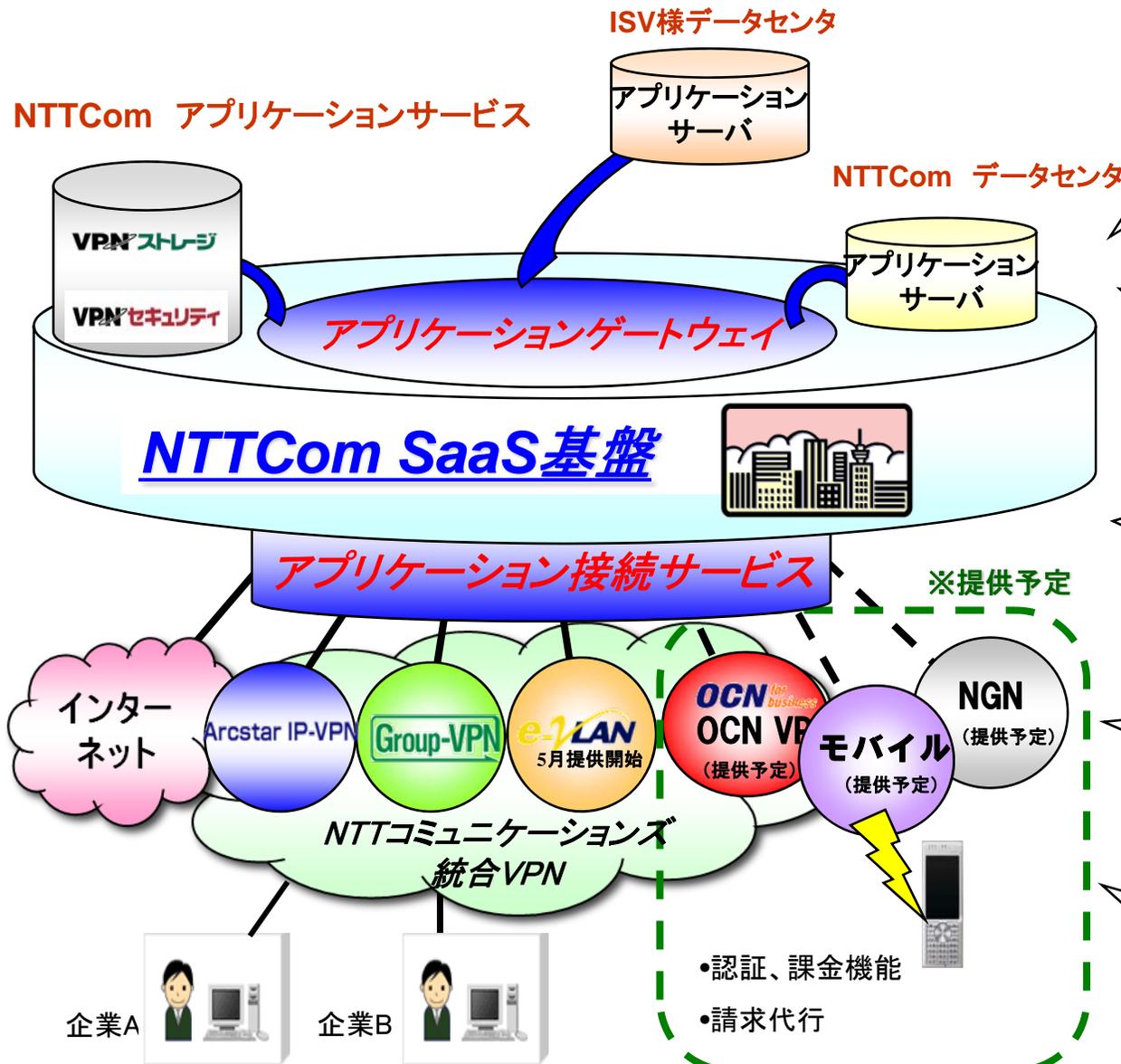
- ◇4つの品質クラス（最優先・高優先・優先・ベストエフォート）を提供
- ◇利用するアプリケーションは、インタフェースごとに定められた通信手順に従って適切な品質クラス及び必要な帯域を選択可能



NGNでのセキュリティの確保

- ◇なりすまし対策・・・回線ごとのID情報を管理し、発信者番号や発IPアドレスなどのチェックを実施
- ◇不正アクセス対策・・・ネットワークの入口に配置したエッジノードで、不正アクセスや異常トラフィックをブロック





•インターネットでの提供に加え、NTTComのVPNユーザ様に対し、セキュアな環境でのSaaS提供が可能となります。

•必ずしもデータ連携やNTTComのデータセンタを前提とせず、迅速かつ柔軟に協業ができます。

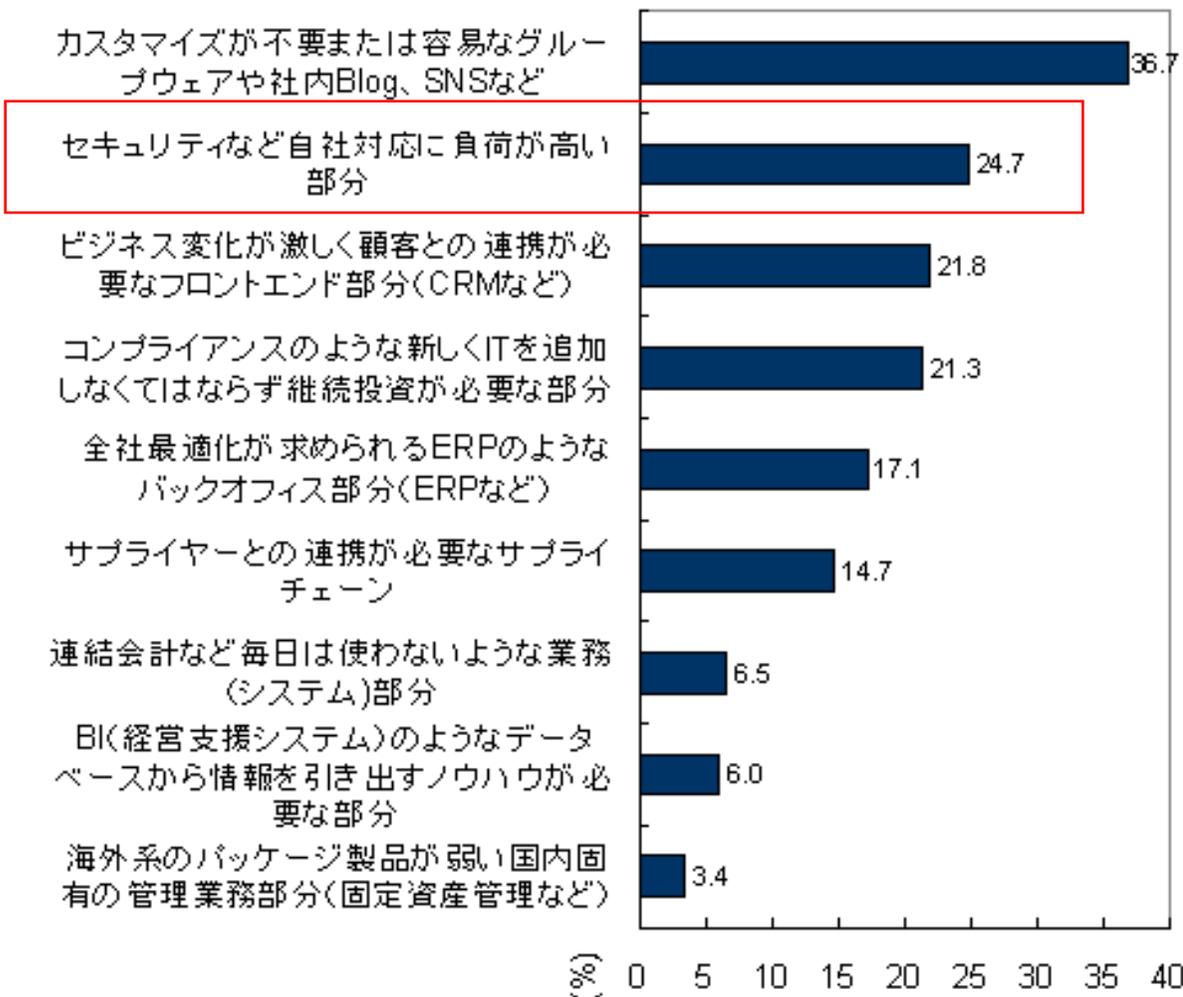
•NTTComのデータセンタを利用する場合は、仮想化ホスティング等も含め、最新かつ堅牢な環境をご提供します。

•協業パートナー様のアプリケーション等を共同プロモーション、共同セールスさせていただきます。

•モバイルでの提供の他、今後本格拡大していくNGNでの提供にも対応します。

現在提供中の アプリケーションの ご紹介

SaaS/ASPで利用したいサービス(複数回答)



n = 934

Source: IDC Japan, 11/2007

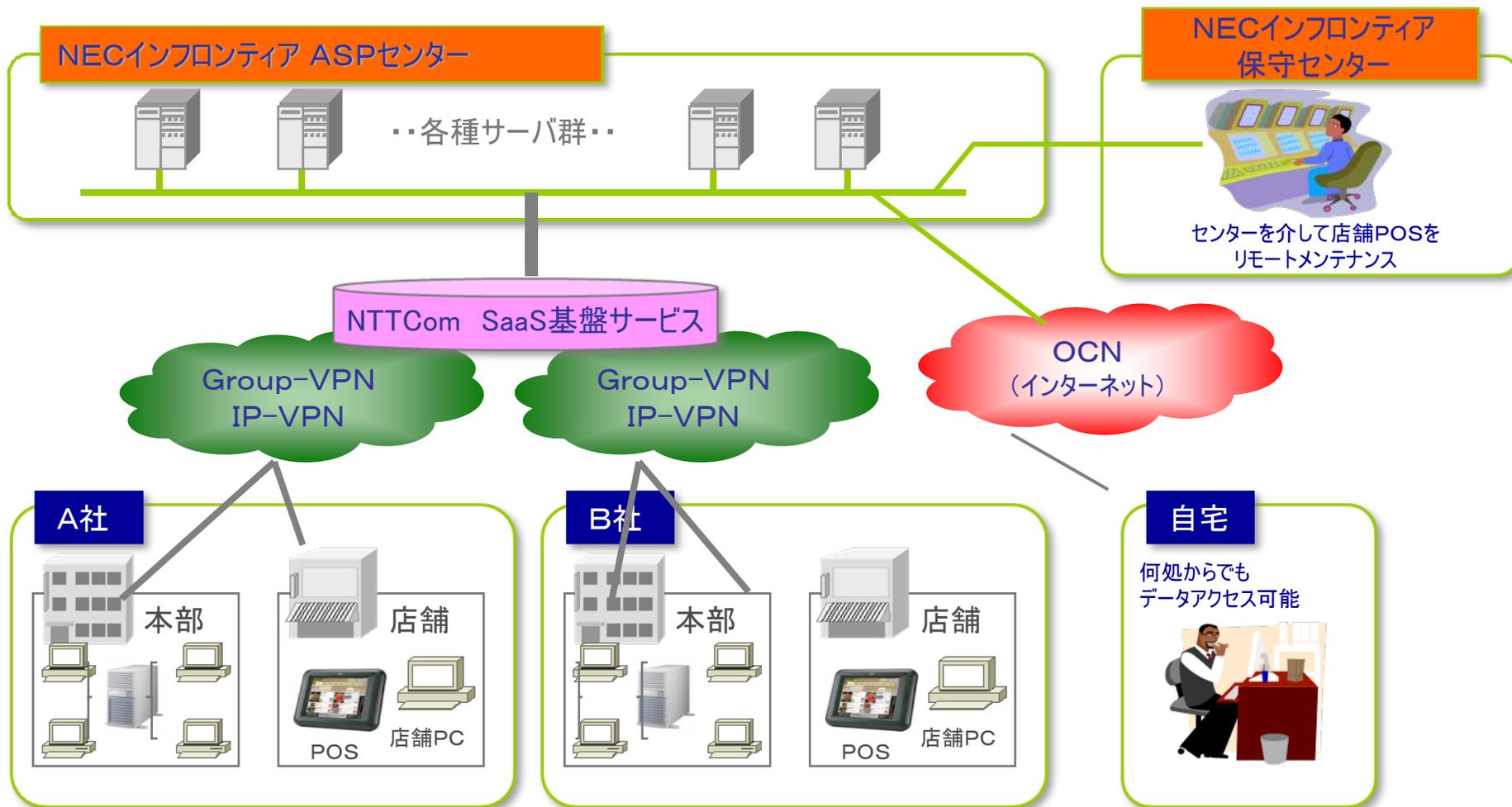
SaaS/ASP型で提供できるアプリケーションは情報システム等のソフトウェアだけとは限らない。

NTTComは様々なアプリケーションをSaaS基盤上で提供していきます。

「XaaS」?

NECインフロンティア様「Food Frontia Pro」

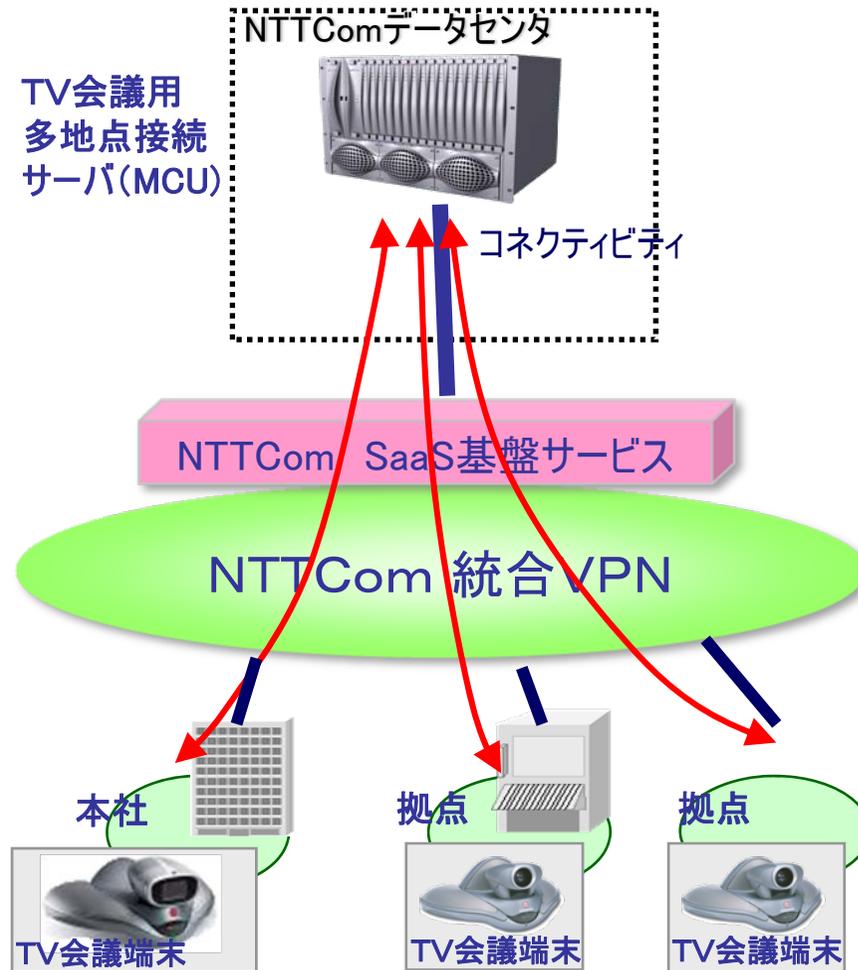
NECインフロンティア様のWebPOSサービス「Food Frontia Pro/ASP」をアプリケーション接続サービスを利用し、VPNユーザへ提供中。



パートナー企業様との協業

Polycom 多地点接続サーバー ハウジング&保守サービス powered with NTTCom

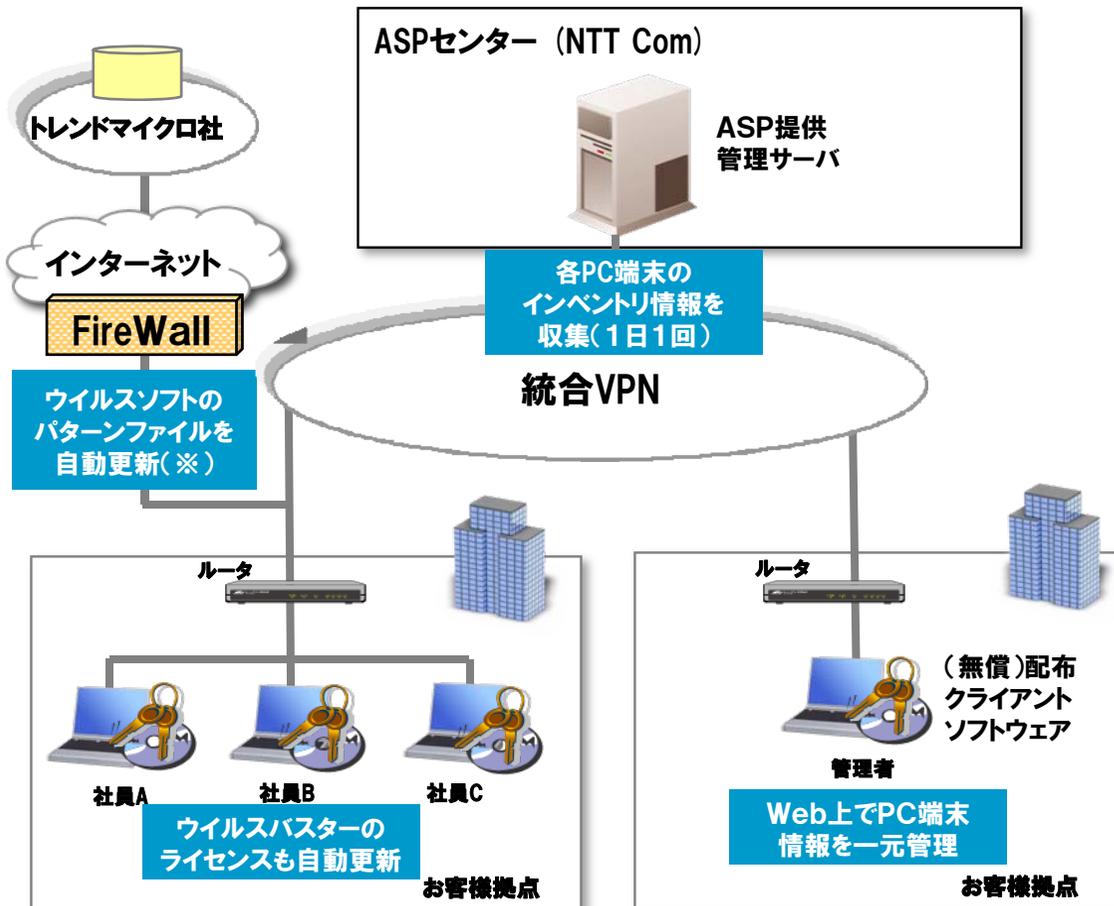
VPN上でポリコム社がMCUとデータセンタ(コネクティビティ)、保守サービス(「Premire+」)を一体で提供



VPNセキュリティ PCパトロール

月額料金 525円/1ID～

企業内の各クライアント端末の恒常的なウイルス・スパイウェア感染防止対策。
定期的なレポートで各端末の状況を視覚的に把握することが可能。



■機能

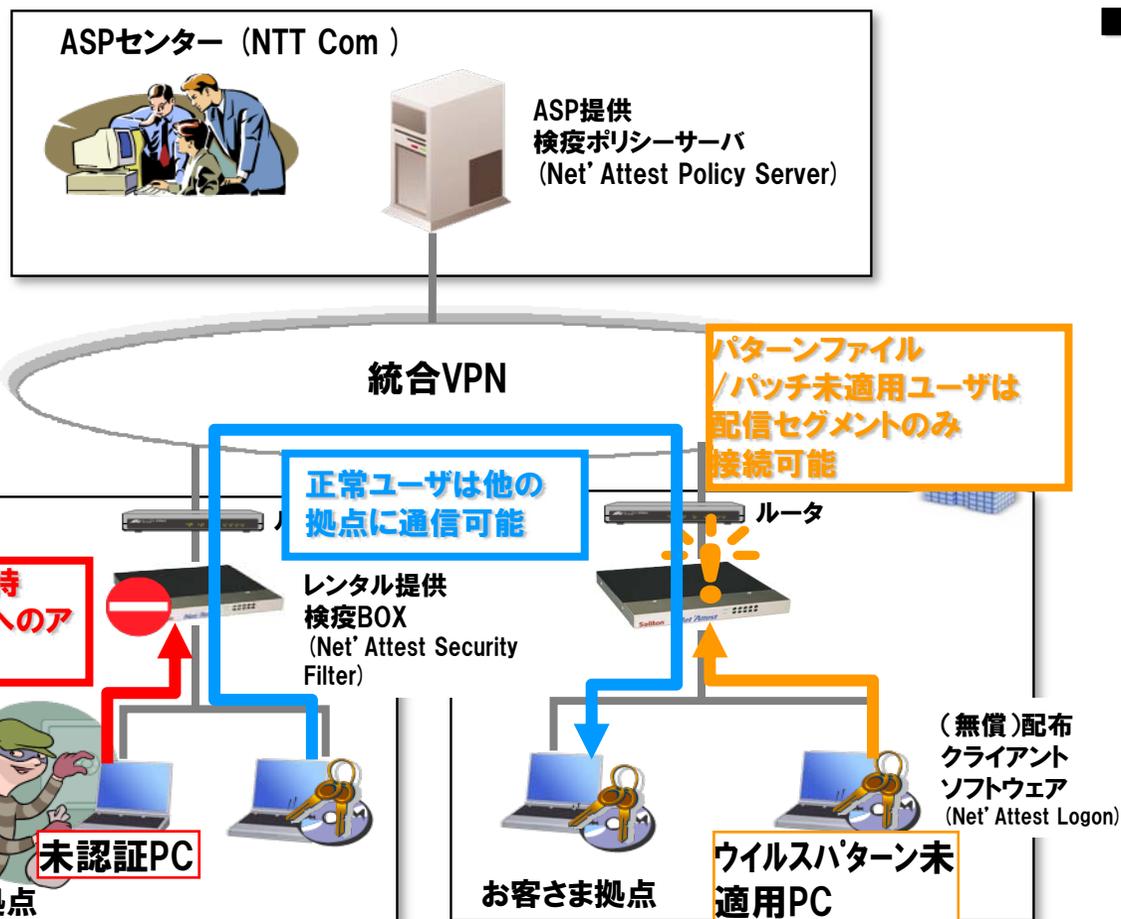
- ・拠点内PC端末のインストールソフトをWEB上で集計・レポート表示
- ・Winny、Share、WinMXなどセキュリティの脅威となるソフトを検知し、一覧表示
- ・オプションでウイルスバスターのライセンスを提供
- ・ウイルスソフトのパターンファイルを一日一回自動更新

※別途インターネットへの接続環境が必要です。

月額料金 735円/1ID~

VPNセキュリティ 検疫ネットワーク

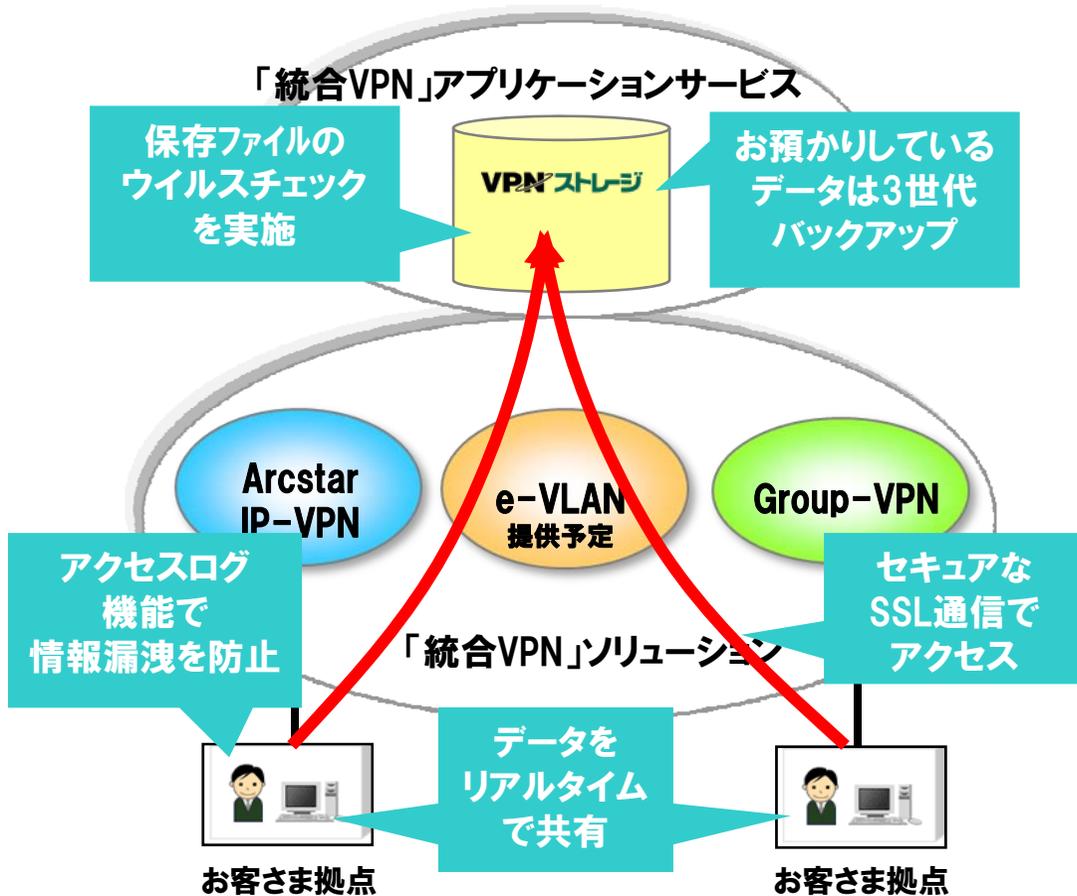
企業VPNに接続させる前に、接続するパソコン端末の安全性をチェック。
不正PCの社内ネットワークへのアクセスを遮断。



■機能

- ・不正PCの社内ネットワーク接続を防止
- ・ウイルス対策ソフトのパターンチェック
- ・WindowsOSのパッチファイルの更新チェック
- ・Winny、Share、WinMX強制削除

◆重要データの保管・受け渡しを閉域網(VPN)上で安全・確実に実施
ログ機能やバックアップ機能などの各種機能により、情報漏洩対策や内部統制にも有効



情報漏洩対策

お客さまのVPN以外からのアクセスを制限します。
また、アクセスログ機能により、アクセスログの監査をすることができます。

ウイルス対策

ファイル保管の際に保存データのウイルスチェックを行うので、安心してご利用いただけます。

リアルタイムのデータ共有

閉域網内でデータの授受ができるので、企業間、拠点間のデータの授受をリアルタイムに実施できます。

今後のアプリケーション展開について

- VPN上でセキュアに使えるSaaSラインナップを充実していきます。
- 業務ソフトだけでなく、様々なアプリケーションを提供していきます。

ぜひご期待下さい！！



ご清聴ありがとうございました

Your ICT Solution Partner



SaaS等でのお問合せ、協業のご相談などについてはこちらへどうぞ

NTTコミュニケーションズ

ブロードバンドIP事業部 SaaSグループ

saas@ntt.com
[0120-343451](tel:0120-343451)